

来年度の全国ラリーについて 従来の集団走行方式を一変

1. 全国ラリーの問題点

従来JCAが主催してきた全国ラリーは、サイクリングの全国的普及と社会環境の変化に伴って次のような諸点の打開が必要となってきた。

- (1) 開催地受入能力の制約と参加者の制限
 - ・開催地の宿泊施設能力
 - ・主管協会の人的、経済的負担能力
 - ・交通事情悪化による大集団走行の困難等の制約があるため参加希望者が増大しているにも拘わらず700~800名しか参加できないのが現状である。
- (2) その結果として
 - ・年1回のサイクリストの祭典でありながら、新しいサイクリストは殆んど参加する余地がない。
 - ・ベテランサイクリストにとっては、大人数のラリーになったため昔のような親睦感が失われ面白くないという不満が出てきた。
 - ・開催地協会では1年以上も前から準備に大変な苦勞をしながら、県外からの参加者を優先させるため自分の県からの参加者は極度に圧縮せざるを得ない。
- (3) 大集団走行の方式はサイクリング普及の初期の段階においては一般の認識向上や開催地協会の組織強化等のためのデモンストラーションとして大きな効果があったが、普及が進むと本来のサイクリングの楽しさを中心とした行事内容に転換

する必要がある。

2. 今後のラリーに望ましい配慮

以上のような問題点を解決するためには、欧州の代表的サイクリングラリーの如く

- (1) 自由参加にしサイクリストの交歓の場とすること。
- (2) 開催地協会の人的、経済的負担を極力なくすること。
- (3) 参加者が自主的に行動し、秩序を守り、自分達の祭典として積極的に運営に協力奉仕すること。
- (4) 参加者全員の大集団走行方式をやめ、多彩な行事を企画して各人が自由選択参加とすることが必要と考えられる。

3. 来年度全国ラリーのねらい

以上のような観点から来年度の全国ラリーは従来の方式に拘わらず、新しい工夫をすべき段階に来ているが、丁度来年は万博開催の年に当り、また伊豆に建設中の世界一を誇るサイクルスポーツセンターが完成するので、このサイクルスポーツセンターを拠点として欧州方式を取入れ、国際的色彩も加味した新方式のラリーを開催したいと考えるので、これを楽しみ祭典にするため全国サイクリスト各位のご支援とご協力をお願いする。

○と き 45年8月上旬(2泊3日)

○と ころ 伊豆修善寺

サイクルスポーツセンター

○参加人員 1,200~1,500名(予定)

45年全国ラリーのあらまし

バラエティに富んだ内容

このように明年の全国ラリーは従来とは全く異なるやり方で行なわれるので、行事内容もバラエティに富んでおり、参加したサイクリストがいろいろなサイクリングを十分楽しむようにする予定である。計画のあらまきは次の通り。

1. 参加資格

参加者の資格は制限せず、自由参加とする。

2. 参加料（2泊3日6食付）予定

A 2,500円（一般サイクリスト）

B 2,000円（中学高校生等）

3. 宿舎

サイクルスポーツセンター、日本競輪学校の宿舎、大仁ヘルスセンター、長岡レジャーセンター、平田スポーツマンホテル、他に修善寺、大仁の旅館を交渉する予定。

4. 会場について（4頁参照）

主会場になるサイクルスポーツセンターは静岡県伊豆修善寺近くの総面積132平方万米（40万坪）におよぶ広大な山野を開拓、ここに5キロと3キロのサーキットや400mと333mのピスト、直線の試験走路ならびに陸上競技場など文字通り世界一のサイクルスポーツの殿堂とする構想でつくられているもので明45年の万博開催を機にオープンする予定で工事が進められている。

すでに日本競輪学校の方は宿舎、体育館、講堂、各種教室、会議室等一切が完成をみており、現在100名の選手が厳しい教育をうけております。

ラリーはこのセンター内の各種施設を利用して行なうほか、センター周辺地でもいろいろな催物を実施する計画なので、当日は参加者はそれぞれ自分の参加する催物の行なわれている場所に散らばることになるでしょう。

5. ラリー催物（日程表参照）

ヨーロッパのラリー型式をとり入れて、多

彩な催物を行ないませんが、画一的に強制参加させるようなことは致しません。

開会式だけは一応全員参加の形をとって、その他はずべて自由選択参加とします。

ただし種目によっては収容人員や運営の時間的制約がありますので、予め希望種目を申し込んでもらうものもあります。

各プログラムは併行して進行するようになります。参加しないで、見学しているだけでも自由です。

◎ラリー式典（全員参加）

◎各種催物（自由参加）

A部 コース試走

B〃 サイクリング関係

C〃 サイクルスポーツ、レース関係

D〃 サイクルゲーム関係

E〃 レク関係

F〃 キャンプ関係

G〃 映画、スライド、懇談会関係

H〃 模擬店、売店関係

解散後希望者は会場をスタートして伊豆箱根国立公園その他伊豆半島各地域へのグループサイクリングをすることも予定しております。

○A部 コース試走

丘陵地の中腹に建設された、極めて変化に富んだ、CSC各種コースの試走。

健脚向、中級向、初心者向等のコースを選択して走るわけですが、1,000人以上の人が走るため混乱防止のため、切符式の試走券を発行する予定です。

6. 主要催物の内容

○B部 サイクリング関係

① マップリーディングコンペティション

② 技術コンクール

③ プロフィシエンシコンクール（乗車テクニックコンクール）その他

○C部 サイクルスポーツ、レース関係

① スピードジャツジコンペティション

② ヒルクライムコンペティション

③ 1,000mタイムトライアル（400mトラ

ック

④ サイクルサッカー（模範演技見学）

⑤ ローラーレーシング

○D部 サイクルゲーム関係

① 後向きレース

② 障害物乗越えレース

③ 親子レース

④ スプーンレース

⑤ 風船割りレース

その他

○E部 レクリエーション活動関係

① 歌唱指導

② ゲーム（個人）

③ ゲーム（グループ）

○F部 キャンプ関係（講習会型式）

① キャンプ設営の初歩実技（講義、実習）

② キャンプクラフトの実習

③ キャンプファイヤーの実習

④ サイクルキャンピングの初歩実技（講義、実習）

○G部 映画、スライド、懇談会

・JCA、個人、フィルム上映

・小グループ、希望ラーコ、希望カウンセラーによる懇談会

○H部 模擬店、売店

・牛乳、コーラ、キャラメル等の売店

・やきとり、ホットドッグ、その他模擬店開設

45年全国ラリー日程表

	第 1 日	第 2 日	第 3 日
09.00 -			
10.00 -		コース 試走	協会対抗ゲーム
11.00 -		各種催物	
12.00 -		昼食	表彰式 閉会式
13.00 -	開会式		昼食
14.00 -	コース試走	コース 試走	解散後、希望者は夫々自分の選んだコースに向って出発する。
15.00 -	サイクルサッカー見学	各種催物	
16.00 -	交歓の集い		
17.00 -	夕食	夕食	
18.00 -		↓ キャンプファイヤー	

日本サイクルスポーツセンター及日本競輪学校

一般平面図



至大仁



職員宿舎

至修善寺

日本競輪学校

5 K コース

5 K コース

西側構内道路

北400mピスト

駐車場

スタンド

東側構内道路

3 K コース

333.3ピスト

南400mピスト

試験走路

3 K コース